

2026年度 大学院人文社会科学専攻(修士課程)入学試験

< 一般選抜 > (200点 120分)

## 問題冊子

試験科目名 ( 言語コミュニケーション論 )

受験番号

問題冊子… 全~~4~~枚(表紙を含む)

### 注意事項

1. 試験開始の合図まで、この問題冊子を開かないこと。
2. 試験開始直後、問題冊子、解答冊子の枚数等を確認すること。
3. 試験中に、問題冊子・解答冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気付いた場合、下書用紙が不足する場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
4. 解答用紙の所定の受験番号欄のすべてに受験番号を記入すること。  
なお、解答用紙には、必要事項以外は記入しないこと。
5. 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入すること。
6. 解答冊子の各ページは、切り離さないこと。
7. 配布された解答冊子は、持ち帰らないこと。
8. 試験終了後、問題冊子、下書用紙は持ち帰ること。
9. 試験終了後、指示があるまでは退室しないこと。

問1. 次の a~f から、異なる3つの用語を選択し、それぞれ日本語で説明しなさい。(75点)

- a coherence (一貫性)と cohesion (結束性)
- b BICS (Basic Interpersonal Communicative Skills)と CALP (Cognitive Academic Language Proficiency)
- c Speech Act (スピーチアクト)
- d affordance (アフォーダンス)
- e inner speech (内言)と outer speech (外言)
- f low context culture (低コンテキスト文化)と high context culture (高コンテキスト文化)

問2. 次の英文は、Lightbown & Spada (2021) の “*How Languages are Learned (fifth edition)*” からの抜粋(一部改編)です。これを読んで下の設問に日本語で答えなさい。(35点)

## 著作権の関係上公表しません

[設問]

本文では「言語」と「言語学習」の両方が複雑なシステムとして捉えられている。両者の共通点と相違点を考慮した上で、なぜ言語学習を社会・文化的学習の一部とみなすことが重要なのかを論じなさい。

問3. 次の英文は、Nasution & Tambunan (2022) の “*Language and Communication*” を参考に、入試問題用に内容および表現を再構成・簡略化して作成したものである。①と②を読んで、下の設問に日本語で答えなさい。(90点)

①

## 著作権の関係上公表しません

著作権の関係上公表しません

②

著作権の関係上公表しません

## 著作権の関係上公表しません

### 設問 1

①によれば、言語は情報伝達以外にどのような役割を果たしているかと述べられているか。二点以上挙げ、それぞれ簡潔に日本語で説明しなさい。(30点)

### 設問 2

①によれば、円滑なコミュニケーションには言語形式だけでなく、文脈的要因が重要であると述べられている。どのような文脈的要因が言語選択に影響を与えるのか、本文の内容に基づいて日本語で説明しなさい。(30点)

### 設問 3

②では、言語が「社会的現実の反映」および「社会文化的アイデンティティの表現」として機能すると述べられている。この二つの機能について、それぞれ本文の趣旨に沿って日本語で説明しなさい。(30点)